H30（　08みしま　）放課後子ども教室の活動報告

|  |  |
| --- | --- |
| 平成３０年度の○成果と●課題 | 平成３１年度へ向けた方策 |
| **１　子どもたちの育ちの状況**  〇体育館でのとび箱遊びが人気で、積極的に練習をするので多くの子ども達が飛べるようになった。  ●活動サポーターや友人に対して思いやりのある言葉遣いが出来ない児童がいて、時には真似をする子もいる。 | 継続  　その場で指導する。  　あまりにもひどい場合は保護者に伝える |
| **２　活動の内容・仕方・講師の声**  〇春～秋は小学校の体育館で体を動かせるよう自由遊びを実施。自由遊びだけでなく、時には専門的な講師の指導を受けながら活動をする。  〇冬は体調面や雪による移動時の危険を回避するために交流センターでの室内遊びのスケジュールを組んだ。（脇野町小）  〇冬場は図書室を会場にし、特技を持った地域の方（南京玉すだれ、ぼうずめくり、どうぶつ将棋）を講師にお迎えをして活動をした。（日吉小） | →継続  　遊具の充実をさせたい。  　必要に応じて物品購入する。  →継続  　講師がいることで活動の目　　　的意識が生まれ、活動サポーターも児童と一緒に楽しんで交流している。 |
| **３　関係機関との連携**  （１）地　域  ●子供たちの活動で講師をしてくれる人などの人材探しや、新しい活動サポーターを増やす。コミセン専門部会との連携（長期休暇中の活動）  （２）児童館・児童クラブ  〇児童クラブの児童も一緒に活動できるように厚生員が参加児童のとりまとめや送迎の手伝いをしてくれている。  〇暑い日や体を動かす活動の際は、水分補給用のジャグを用意してくれる。  （３）学　校  〇活動に対して場所（体育館）の提供や物品の貸借、保管など協力をしてもらっている。  〇けが人が出た時は保健の先生から協力を得ている。（擦り傷等の経度の手当ては活動サポーターで行い、迎えに来た保護者に伝える）  （４）その他の機関 | →コミセンだより等で募集するなど。  →活動中の児童の様子など情報交換や共有をすることで、個々との関わりを充実させていく。  →継続  →継続 |
| **４　その他（参加募集や広報の仕方など工夫したこと）**  〇冬の活動は、講師をお招きして実施。学校にチラシを配布してもらい、活動内容をアピールした。ダンスを踊ろう！ではなく、ＵＳＡを踊ろう！と今流行っている話題を取り入れた。 | →継続  　登録児童がチラシ配布後に数名増えた。 |

＊来年度に向けた方策がありましたら、書ける範囲で記述をお願いします。